

平成28年11月11日

大気中の石綿濃度測定結果について

(3回目: 車庫棟)

桶川市では、旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場解体調査保存等業務委託における車庫棟の屋根石綿スレートの解体調査の際に、大気中の石綿濃度測定を実施しました。

その結果、大気汚染防止法で定める石綿製品製造事業所の敷地境界基準値を大幅に下回る値でした。

今後、兵舎棟の調査の際にも、同様に測定を実施してまいります。

<調査結果の概要>

(1) 測定実施日

平成28年10月14日(金)

(2) 測定結果

[単位: 本/リットル (大気1リットル中の(総)繊維の本数)]

測定場所	石綿繊維数 ^{※1} 総繊維数 ^{※2} [東面のみ]	【参考】 石綿製品製造事業所の 敷地境界基準
		10
車庫棟 北面	0.60未満 ^{※1}	10
〃 東面	0.93 ^{※2}	
〃 南面	0.60未満 ^{※1}	
〃 西面	0.60未満 ^{※1}	

※1) 総繊維数が1.0本/リットルを超過したため、電子顕微鏡法により同定を行った石綿のみの繊維数である。(定量下限値は0.60本/リットル)

※2) 総繊維数とは、石綿等の無機繊維だけでなく綿ぼこりや化学繊維等の有機繊維の全ての繊維の数です。

(3) 測定方法

「アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)」

(平成22年6月 環境省 水・大気環境局)に準拠

(4) 測定機関

株式会社環境総合研究所 代表取締役 吉田 裕之
(川越市鴨田592番地3)

<問い合わせ先>

桶川市 道の駅・飛行学校跡地整備課
飛行学校担当
048-786-3211(代)